

Monobee^{モノビー}

Monobee H.I.D System

取扱説明書

仕様

[HIDバルブ] ★ タイプ : H1, H3, H3C, H4Low, H4Hi/Lo, H7, H8, H11, HB3, HB4

[バラスト] ★ 25W モノビースリムバラスト ★ 35W モノビースリムバラスト
★ 55W モノビースリムバラスト ★ 35W-55W モノビーファイブステージバラスト
★ ショートデュアルバラスト

はじめに

- この度は、Monobee HIDシステムをご購入いただきありがとうございます。正しく安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解いただいた上でご使用ください。誤ったご使用による事故などの責任は一切負いかねますことをご了承ください。
- 本製品は単品でのご使用はできません。「バラストユニット」と「バルブキット」を合わせてご使用ください。

《お客様へ》

- 本製品は自動車専用です。H1, H3, H3C, H4(Low), H4Hi/Lo, H7, H8, H11, HB3, HB4 の適合車以外には取付けないでください。
- 取付けの際は必ず専門業者様にて取付けの可否をご確認の上、取付け作業を行ってください。車種によってはスペースの不足、レンズ内の距離等により設置不可となる場合があります。
- 本製品の取付け・交換は専門知識と習熟した技術が必要です。必ず整備工場や、自動車電装品取扱い業者様にて行ってください。



危険

- 本製品は高電圧を発生させますので HID点灯時、点灯直後にインバータ・イグナイタ・バルブ・コード類には絶対に触らないでください。感電により、人命に関わる重大事故につながる危険性があります。
- 紙や布でおおったり、ガソリン、可燃性スプレー、シンナーなど引火する危険性のある物の近くで点灯しないでください。火災や爆発の原因となります。
- 取付け前に商品の状態を点検・点灯確認を行ってください。商品に破損があった場合は、直ちに作業を中止してください。
- 取付けの際は、バッテリーのマイナスターミナルを外し、ヘッドライトのスイッチを OFF にしてください。バッテリーへの接続はすべてのコネクタを接続してから行ってください。HID取付後、バッテリーのマイナスターミナルを取付け、ナビ・ラジオ・パワーウィンドウ・サンルーフ・ステアリングポジション等を再メモリーしてください。



警告

- 点灯中の光を直視しないでください。視力障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にバルブに手や肌を触れないでください。大変高温になっているため火傷の原因となります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。高電圧スパーク、絶縁不良など製品の故障や車輛火災の原因となります。



注意

- バルブを落としたり、無理な力を加えないでください。破損や性能の低下の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急激な温度変化により、バルブやレンズの破損の原因となります。
- 本製品は精密な電子機器です。落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。
- 本製品は HID 起動時に15A 程度が必要となります。車輛のヘッドライトヒューズが15A未満の場合、15A以上(最大20A)のヒューズに交換してください。
- 他社製品との併用によるトラブルは、原因の内容に関わらず一切保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 点灯 / 消灯の繰り返しを頻繁に行わないでください。寿命が短くなったり、不点灯の原因となります。

《使用上のご注意》

◎ 点灯 / 消灯を頻繁に行わないでください。

点灯 / 消灯を繰り返すと、バラストの安全装置が働きバルブが点灯しないことがあります。
この症状が出た場合、数秒間置いてから再点灯を行ってください。

◎ 一部の車輻において、メーターパネル内のハイビームインジケーターが不点灯になる場合があります。

車輻の回路設定と HID システムの相性によるものです。ハイビームインジケーター不点灯ハーネス等をご用意いただくか、配線の加工をして頂く事でハイビームインジケーターを点灯させる事が出来ます。

◎ 車輻によっては他の電子機器に影響を及ぼす可能性があります。

HID システムを装着することにより、下記障害例のように、車に搭載している他の電子機器に影響を及ぼす場合がありますので、予めご承知ください。

例) 球切れ警告灯・警告音付きの車両の場合、警告灯が点灯し、警告音が鳴る場合があります。
この場合、消すことが出来ない場合もございますのでご注意ください。

◎ ハーネスの接続は確実に行ってください。

誤った装着や接続が不完全な状態では、作動不良やバルブの短寿命、インバータ・イグナイなど、その他製品の故障や火災等の原因となります。

◎ 車両によっては照射光に影等がでる場合があります。

HID バルブまたは灯体の構造の影響により、照射光に影が出る場合もございます。予めご了承ください。

※下記症状は HID 特有の症状によるもので製品不良ではありません。

1. HID バルブはシステムの特性により、点灯直後に徐々に色が安定していきます。この変化は約 30 秒程度で安定します。
2. 左右バルブの点灯のタイミングが多少異なる場合がありますが、異常・故障ではありません。
3. バルブの個体差により、左右の色が異なる場合がございます。

取付上のご注意

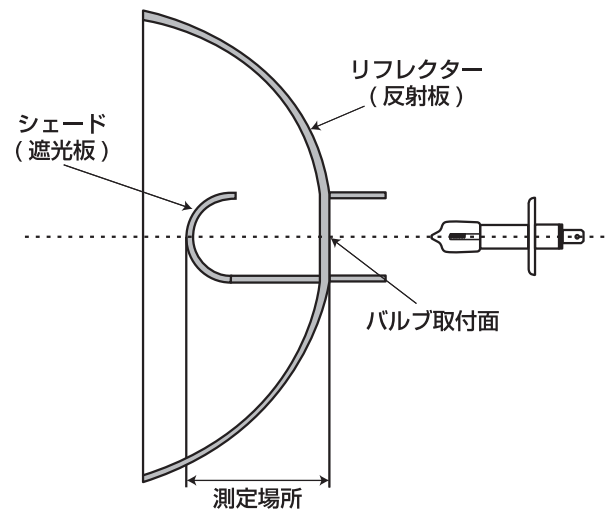
※ 取付作業を行う前に取付部の内部スペースをご確認ください。

[各タイプの取付けに必要なスペース]

- H1, H7 53mm 以上
- H8, H11, HB3, HB4 ... 58mm 以上
- H4 58mm 以上
- H3C 46mm 以上

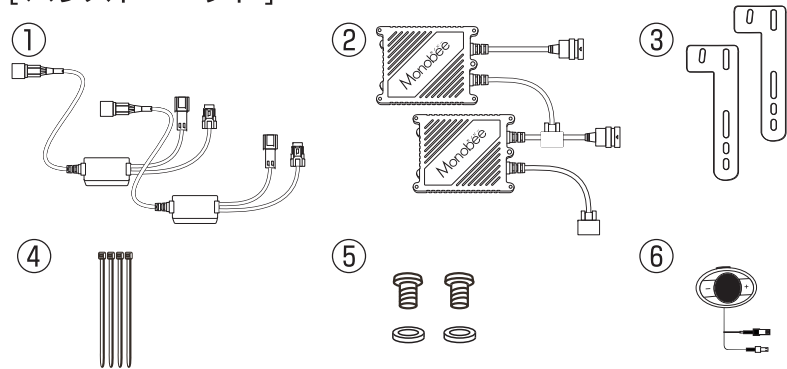


測定した数値が必要寸法に満たない場合は装着不可です。



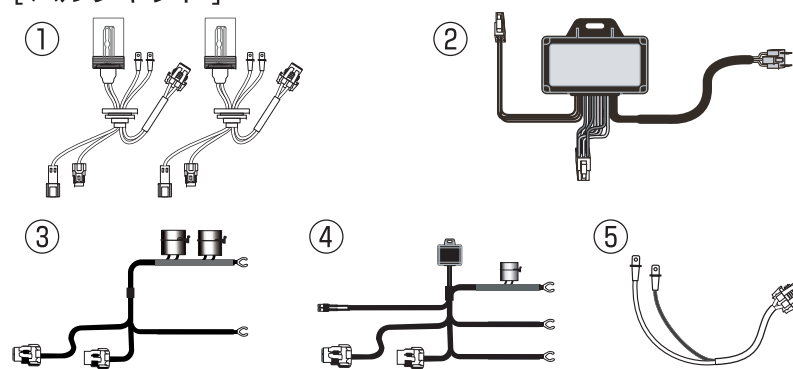
構成部品

[バラストユニット]



- ①イグナイタ ②インバータ ③取付ステー
④結束バンド ⑤取付用ビス ⑥調光リモコン (パワー調整式のみ付属)

[バルブキット]



- ①HIDバルブ ②H4 Hi/Loスライド専用リレーハーネス
③デュアル専用ハーネス ④電圧安定リレーハーネス (シングルタイプのみ付属)
⑤点灯テスト入力ハーネス (シングルタイプのみ付属)

取付手順と要領

シングルバルブタイプ装着の場合

1

《 電源の遮断 》

バッテリーのマイナス(-)端子を外して作業を行ってください。バッテリーのマイナス端子を取外すとラジオ・サンルーフ・パワーウィンドウなどのメモリーが消える場合があります。端子を外す前に記録を残してください。また、作業終了後に必ず元の状態に復帰してください。



2

《 ヘッドライト脱着 》

取付作業を容易にするため、車輻によってはヘッドライトASSYを取り外してください。
※取り外し方法は各車輻の整備解説書をご参照ください。

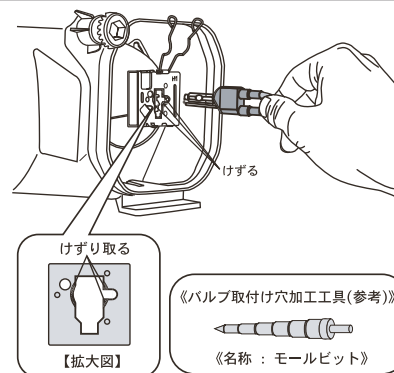


3

《 バルブ装着前準備 》

H1タイプの場合

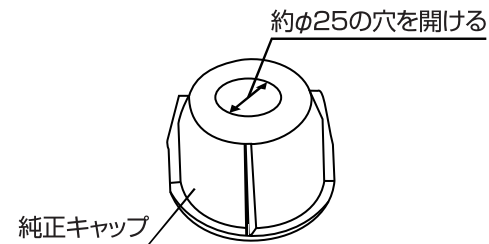
- ① ランプユニットのバルブ固定マウントにあるアース線を必ず取り外してください。
- ② このH1システムは、ハロゲンH1タイプよりもガラス部分が若干太いため、車輻によりバルブが入りにくい場合があります。その際、下記のような加工を行いバルブを取り付けてください。
- ③ HIDバルブのガラス部分が入る穴をモールビットなどでガラス部分が当たらない程度に拡げてください。



4

《 HIDバルブ取付け 》

- ① 【バルブの脱着】 純正ハロゲンをヘッドライトから取り外し、HIDバルブを取り付けてください。
- ② 【樹脂カバーが装着されている車輻】
樹脂製防水カバーの中央付近へ約φ25mmの丸穴をあけてください。あけた穴にバルブの配線を通したあと、バルブの防水ゴムキャップを樹脂カバーへはめ込み、樹脂カバーとゴムキャップの接合部にシリコン剤やシール剤などを塗布し、防水処理を行ってください。



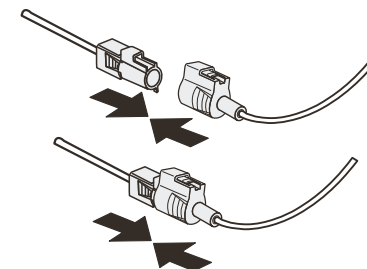
③ 【電源の接続】

バルブに付いている2本のハーネス(赤線・黒線)の一方を車輻ヘッドライト電源端子のプラスへ、もう一方をマイナスへ接続してください。防水キャップを元の状態に戻してください。

④ バルブとイグナイタのコネクタを"カチツ"と音がするまで確実に接続してください。

⑤ イグナイタとインバータのコネクタを"カチツ"と音がするまで確実に接続してください。

⑥ バルブコネクタと車輻側ヘッドライトコネクタを接続してください。



5

《 インバータの取付け 》

① インバータ本体を、車体の高温になりやすい部分や水のかかりやすい場所を避け、確実に固定できる場所へインバータ用汎用ステーまたは固定穴へボルト・ナットなどで固定してください。
点灯中はインバータが高温になるため、他の部品から20~30mm以上離して設置してください。
放熱できなくなるため両面テープでの接着はご遠慮ください。

② 車輻とインバータをタイラップで確実に固定してください。

6

《 イグナイタの取付け 》

① イグナイタを結束バンドで車体へ組付けてください。



車体の高温になりやすい部分や水のかかりやすい場所を避け、確実に固定してください。

7

《 配線に関して 》

① 配線したハーネス類は本製品や車の運行に支障のないよう、付属のタイラップ等で束ねて処理してください。



HIDバルブ~イグナイタ~インバータ間のハーネスは高電圧が発生するため延長や加工等は絶対に行わないでください。故障や火災等の原因となります。

8

《 車輻の復元 》

① 取付作業を行う際に取り外した部品を復元した後、最後に必ず点灯テストを行ってください。
点灯に問題がなければ取付作業は終了となります。
この時点で点灯しない場合は、トラブルシューティングをご参照の上、各部の点検を行ってください。

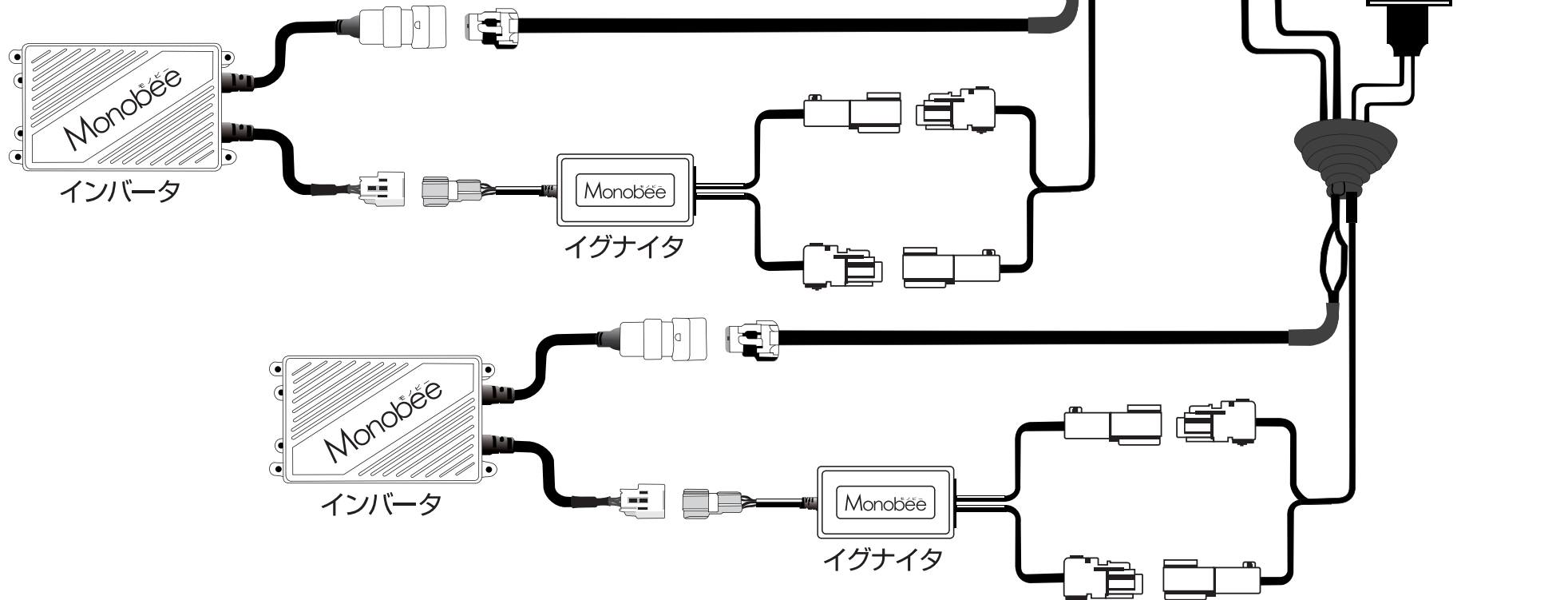
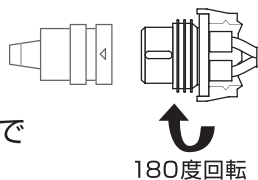
② 各ランプ、ホーン、ワイパー、電装品などが正常に作動するかご確認ください。

※上記の手順にて取付けて点灯した際、点滅・ヒューズ切れ・片側不点灯が起こる場合、電圧不足の可能性あります。
電圧安定リレーを使用しバッテリーから電源を取ってください。

《 シングルバルブタイプ取付配線図 》

※チラつきや片側が消灯する場合、電圧不足の可能性あります。
付属の電圧安定リレーを使用し、バッテリーから電源を取ってください。

下記の配線にて接続して点灯しない場合、車輛により
プラスとマイナスが逆になっている車があります。
その場合は、バラストに繋ぐ楕円形
のカプラーを180度回転させて
反対向きに再接続してください。
その際、ツメがありませんのでテープ等で
しっかりと接続部を止めてください。



H4 Hi/Loタイプ装着の場合

1

《 電源の遮断 》

バッテリーのマイナス(-)端子を外して作業を行ってください。バッテリーのマイナス端子を取外すとラジオ・サンルーフ・パワーウィンドウなどのメモリーが消える場合があります。端子を外す前に記録を残してください。また、作業終了後に必ず元の状態に復帰してください。



2

《 ヘッドライト脱着 》

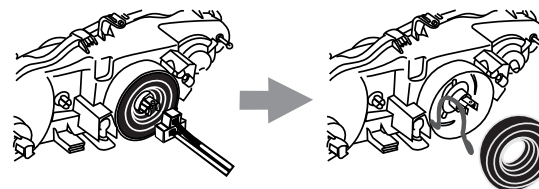
取付作業を容易にするため、車種によってはヘッドライトASSYを取り外してください。
※取り外し方法は各車種の整備解説書をご参照ください。



《 バルブ装着前準備 》

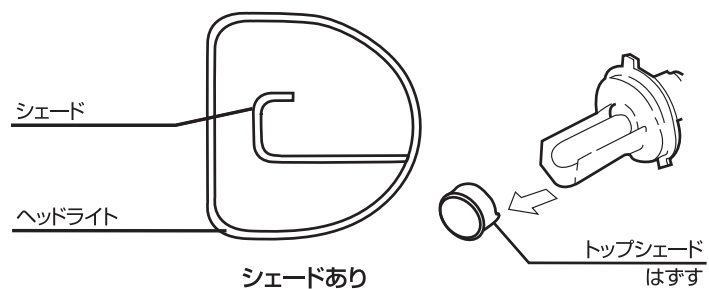
H4 Hi/Loタイプの場合

ヘッドライト接続用コネクタと防水ゴムカバーを外し、金属のクリップを外してバルブをヘッドライトユニットから取り外してください

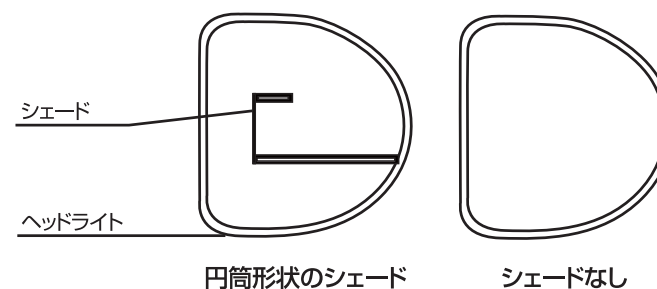


- ① ヘッドライトにシェードが付いている場合はシェード部のトップシェードを外してください。【図A】
ヘッドライトにシェードがない場合はトップシェードが必要です。【図B】

【図A】



【図B】



3

- ② 防水ゴムカバーをバルブに装着し、ユニット部に差込み装着します。
- ③ バルブとイグナイタのコネクタを"カチツ"と音がするまで確実に接続してください。
- ④ イグナイタとインバータのコネクタを"カチツ"と音がするまで確実に接続してください。
- ⑤ バルブコネクタと車輻側ヘッドライトコネクタを接続してください。



4

《 インバータの取付け 》

- ① インバータ本体を、車体の高温になりやすい部分や水のかかりやすい場所を避け、確実に固定できる場所へインバータ用汎用ステーまたは固定穴へボルト・ナットなどで固定してください。
点灯中はインバータが高温になるため、他の部品から20~30mm以上離して設置してください。
放熱できなくなるため両面テープでの接着はご遠慮ください。
- ② 車輻とインバータをタイラップで確実に固定してください。



5

《 イグナイタの取付け 》

- ① イグナイタを結束バンドで車体へ組付けてください。



車体の高温になりやすい部分や水のかかりやすい場所を避け、確実に固定してください。



6

《 配線に関して 》

- ① 配線したハーネス類は本製品や車の運行に支障のないよう、付属のタイラップ等で束ねて処理してください。



HIDバルブ~イグナイタ~インバータ間のハーネスは高電圧が発生するため延長や加工等は絶対に行わないでください。故障や火災等の原因となります。



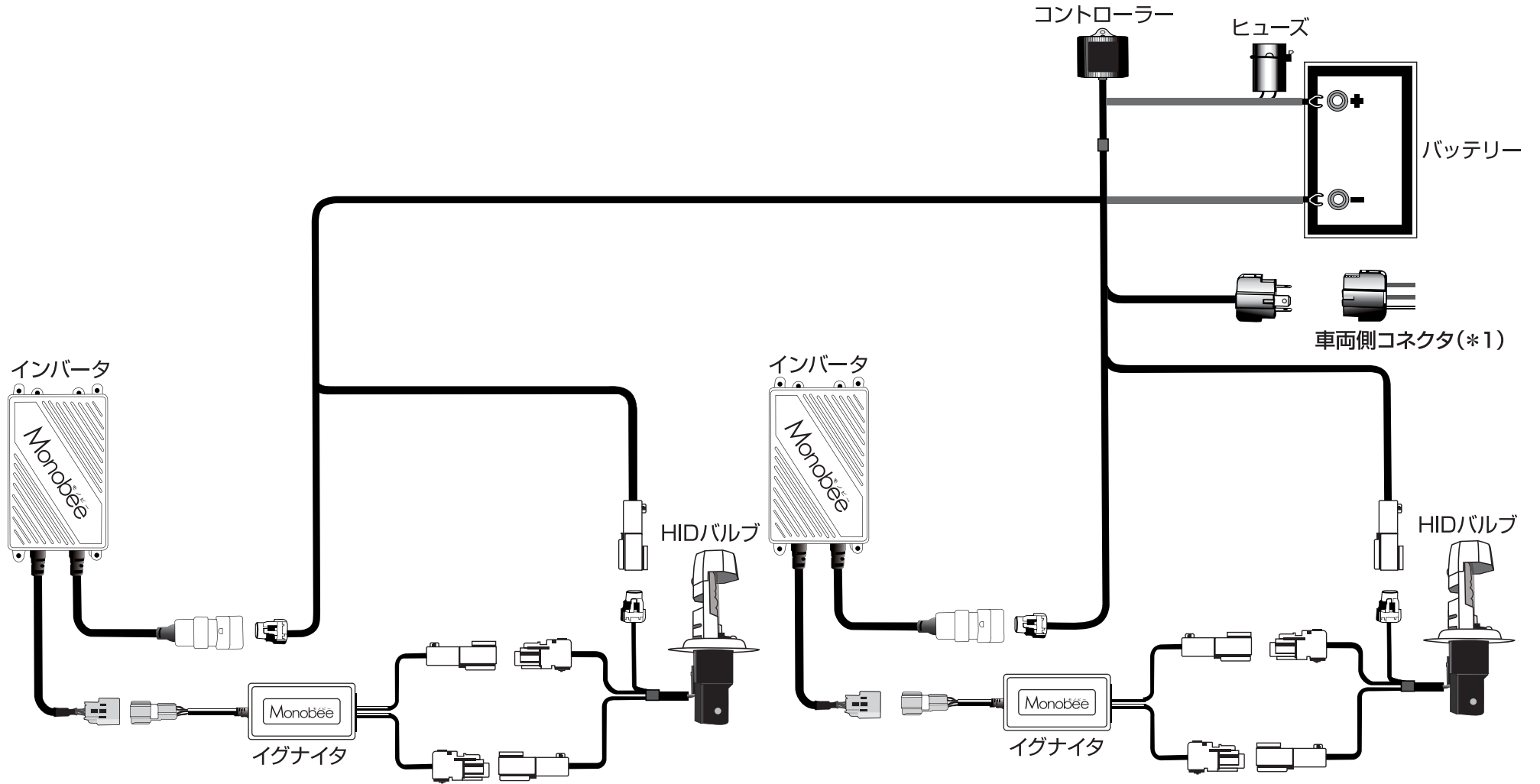
7

《 車輻の復元 》

- ① 取付作業を行う際に取り外した部品を復元した後、最後に必ず点灯テストを行ってください。
点灯に問題がなければ取付作業は終了となります。
この時点で点灯しない場合は、トラブルシューティングをご参照の上、各部の点検を行ってください。
- ② 各ランプ、ホーン、ワイパー、電装品などが正常に作動するかご確認ください。

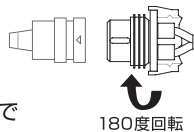
《 H4 Hi/Lo スライド式取付配線図 》

(※1) 片側の車両側コネクタのみ使用しますので、使用しない車両側コネクタは絶縁処理をしてください。

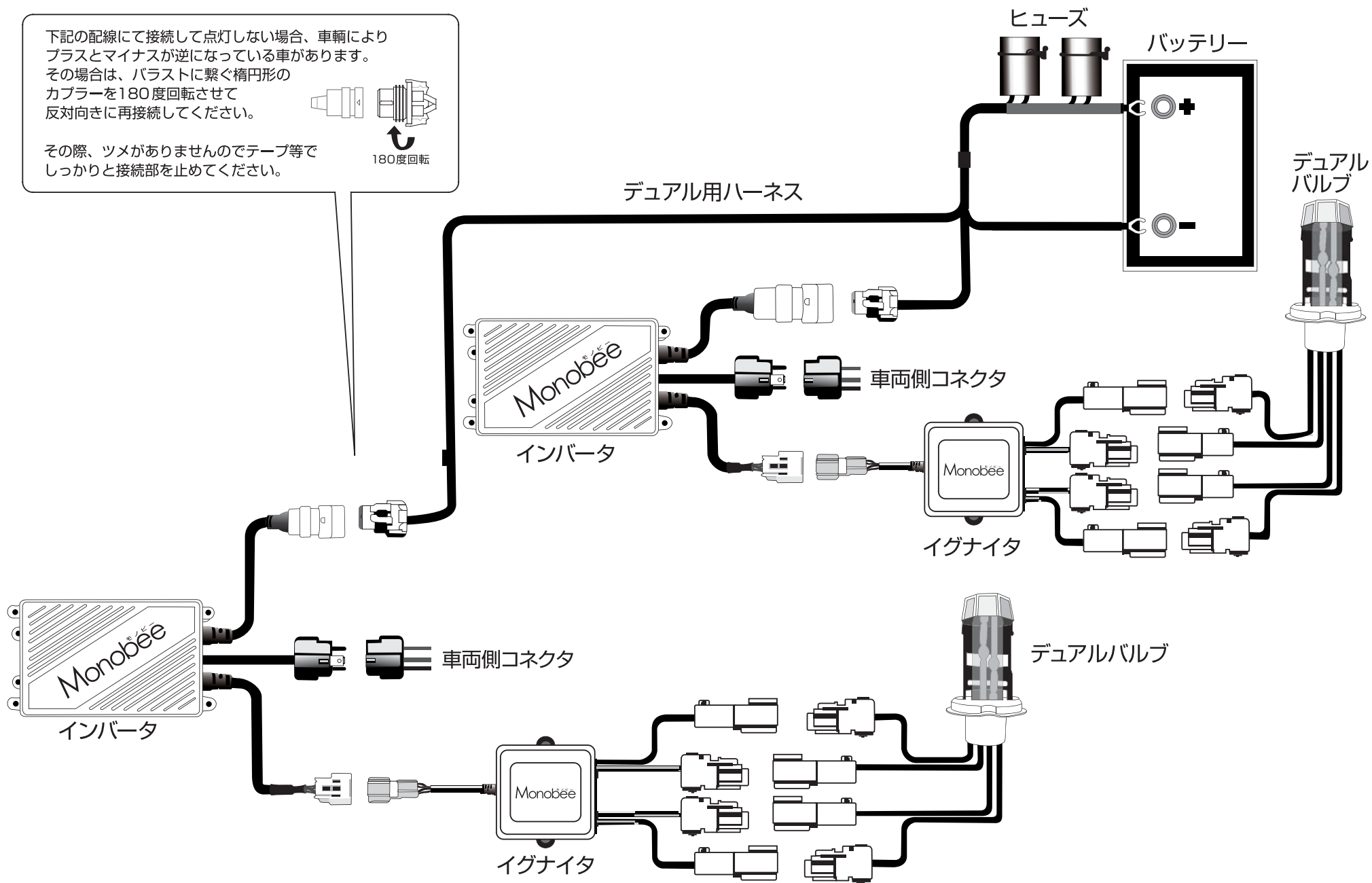


◀ H4 Hi/Loショートデュアル取付配線図 ▶

下記の配線にて接続して点灯しない場合、車輛によりプラスとマイナスが逆になっている車があります。その場合は、バラストに繋ぐ楕円形のケーブルを180度回転させて反対向きに再接続してください。



その際、ツメがありませんのでテープ等でしっかりと接続部を止めてください。



《モノビーファイブステージ取付配線図（シングルタイプ）》

※下記の配線図は片側分のみ記載しておりますので、反対側も同じように配線してください。

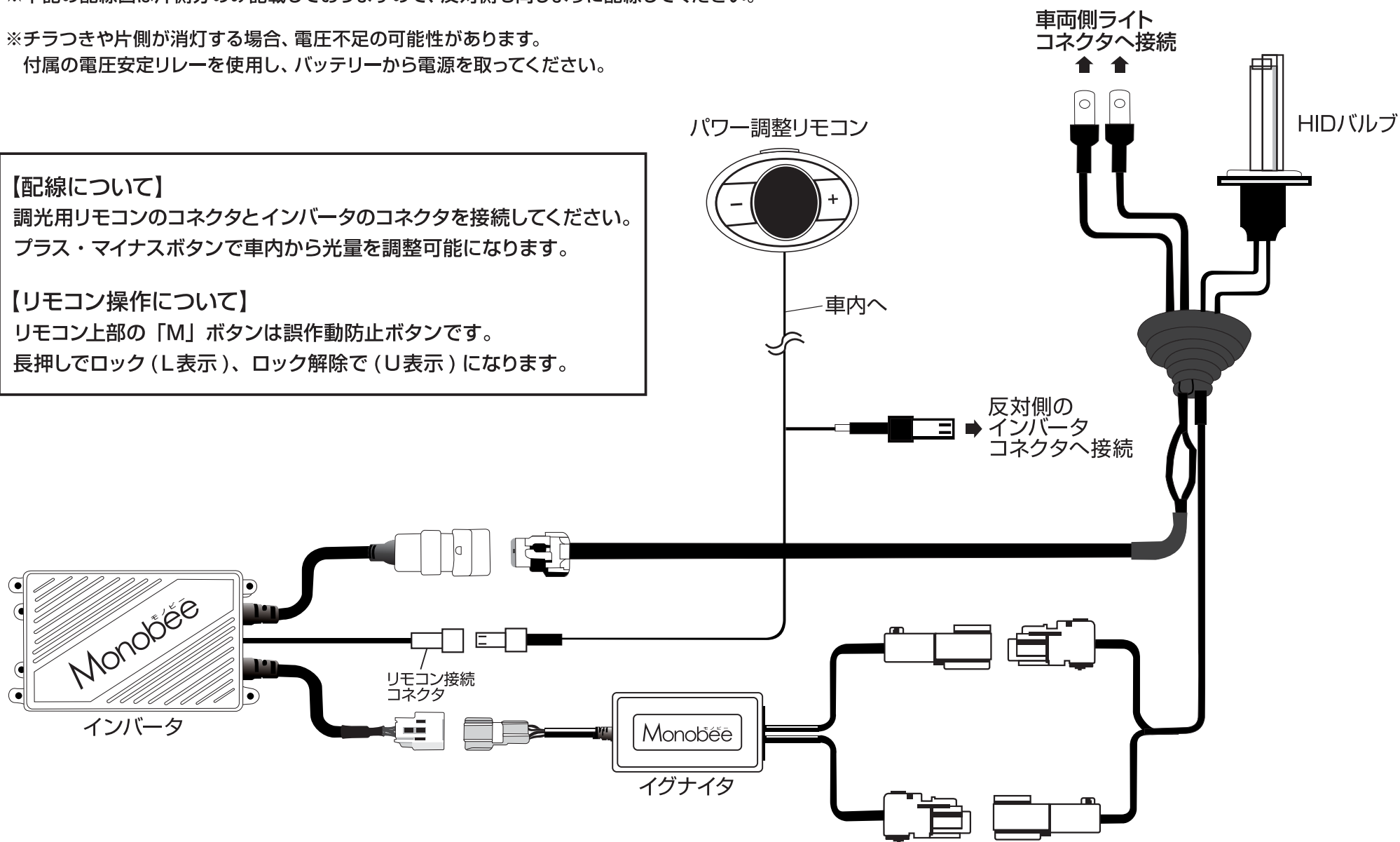
※チラつきや片側が消灯する場合、電圧不足の可能性があります。
付属の電圧安定リレーを使用し、バッテリーから電源を取ってください。

【配線について】

調光用リモコンのコネクタとインバータのコネクタを接続してください。
プラス・マイナスボタンで車内から光量を調整可能になります。

【リモコン操作について】

リモコン上部の「M」ボタンは誤作動防止ボタンです。
長押しでロック（L表示）、ロック解除で（U表示）になります。



《 モノビーファイブステージ取付配線図 (Hi/Lo タイプ) 》

(※1) 片側の車両コネクタのみ使用しますので、使用しない車両側コネクタは絶縁処理をしてください。

